

# 一体化に関する Q&A

2つの病院が1つになることで何がどう変わるのでしょうか…  
皆様が抱える質問について回答しました。

**Q1** 診察券はそのまま使えますか？

はい。そのまま使えます。診察券番号もそのままご利用いただけます。

**Q2** 病院一体化で、担当医師が変わってしまう？

基本的には、病院一体化の影響で担当医師が変わることはありません。

**Q3** 病院一体化で、病院内が大幅に変わってしまう？

10月1日から大幅に変わってしまうことはありません。診療科の名前や場所の変更がある場合は、事前にHPや院内掲示などでお知らせします。ご安心ください。



**Q4** 紹介状は必要ですか？

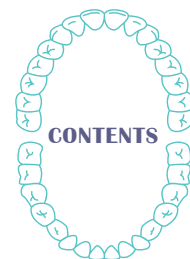
2021年10月1日より、医学部附属病院との統合により、「特定機能病院」として厚生労働省から承認される予定となっております。これにともない 2021年10月1日以降、初診の患者さん<sup>※1</sup>は、他医療機関からの紹介状(診療情報提供書)が必要となりますので、ご理解・ご協力をお願い申し上げます。紹介状(診療情報提供書)をご持参頂けない場合は、初回受診時に診療時選定療養費として5,500円(消費税込)をお支払いいただきます。

※1 初診の患者さんとは、初めておかかりの方、または前回の来院より3か月以上経過している方(担当医の指示による定期フォローは除きます)のことをいいます。

**Q5** 診療・検査・処方薬等の情報は引き継がれますか？

はい。これまでに受診した際の情報はすべて引き継がれます。これまでの情報がなくなることはありませんのでご安心ください。また、一体化前も医科・歯科で連携が必要な場合には、患者さんのご了承をいただいた上で、診療情報を共有しております。これからも、今まで同様に情報共有しながら、医科と歯科で連携して診療を行います。

# 東京医科歯科大学 歯学部附属病院通信



- 病院長のご挨拶
- 病院一体化で、ここが便利になります！
- 病院一体化に関するQ&A

## 2021年10月、 東京医科歯科大学病院としてスタート！

### 病院長メッセージ

東京医科歯科大学歯学部附属病院 病院長

水口 俊介

2021年10月1日より歯学部附属病院と医学部附属病院は一つになり「東京医科歯科大学病院」として新たなスタートを切ることになります。

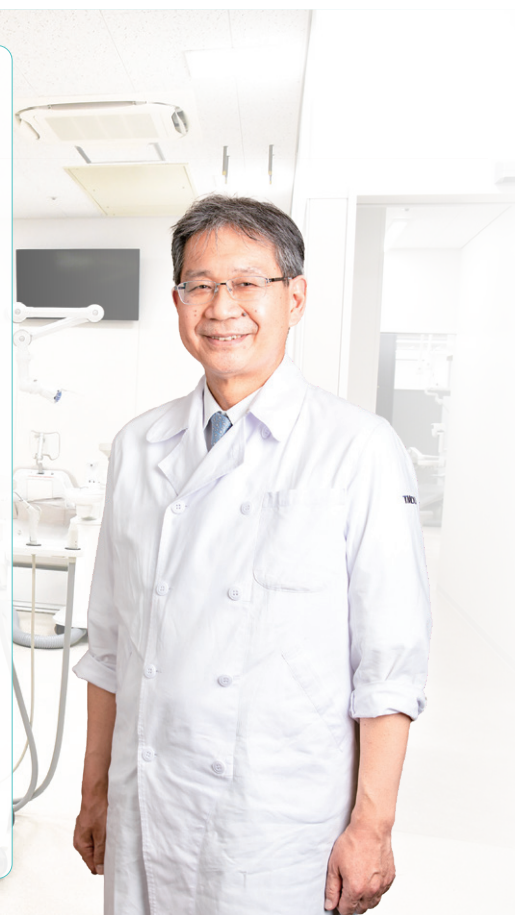
これまで東京医科歯科大学は、「知と癒しの匠を創造し、人々の幸福に貢献する」という理念に基づいて、開学以来、歯科・医科、二つの病院において、高度な医療の提供、医師および歯科医師等の育成、新たな医療技術の研究・開発を行ってまいりました。

しかし、今後の高齢社会の進行による疾病構造の変化や、今回の新型コロナウイルス感染症パンデミックのような新たな傷病の出現を見据えて、口腔疾患と全身疾患の区別なく、トータル・ヘルスケアを実現することを大学の目標に決めました。

このような大学の目標を達成するために両病院が一つになり、医科・歯科を問わない診療科間の協力を可能にすることで、より高度で、安心安全な医療が提供できるものと考えています。

新しい東京医科歯科大学病院においては、「世界最高水準のトータル・ヘルスケアを提供し人々の幸福に貢献する」ことを目標に、職員一同一層の努力をしてまいります。

ご利用いただいている患者さんには、ご不便やご負担をおかけせずに「東京医科歯科大学病院」スタートの日を迎えられるよう、準備を整えてまいりますので、よろしくお祈りいたします。



### ご来院の皆様へ

本院は大学附属病院であることから、理念として「優れた医療人の育成に努め、患者さん一人ひとりにあった最高水準の歯科医療を提供します。」を掲げています。すなわち、良質で安全な歯科医療を提供するだけでなく、教育病院として将来の歯科医療を担う優れた医療人を育成すること、先端的歯科医療のための臨床研究や各種治験を推進することも本院の重要な使命であることをどうかご理解ください。



代表電話番号 03-3813-6111 (歯学部附属病院とお伝えください)  
診療日 月～金 初診受付 8:30～10:30  
休診日 土、日、祝日と年末年始 (12月29日～1月3日)

初診予約デスク: 03-5803-4300  
予約受付日時: 平日 12:00～16:00

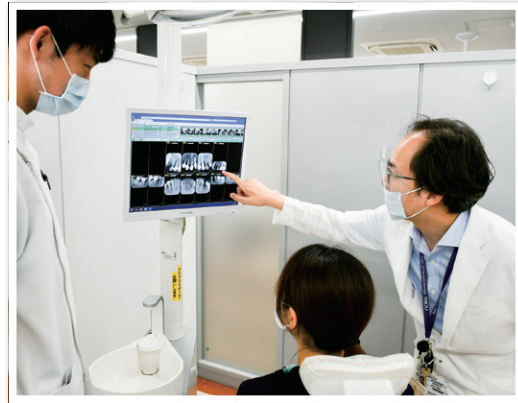
編集発行: 東京医科歯科大学歯学部附属病院 (〒113-8549 東京都文京区湯島1-5-45)  
地域歯科医療連携センター広報誌編集委員会 総合診療科講師 磯波 健一 / 看護部副看護師長 長浦 真由美 / 歯科衛生保健部 森下 琴以  
業務課 清水 紗子 / 広報部特任講師 宇山 恵子 (撮影) / デザイン SOYA

# 2021年10月1日から「東京医科歯科大学病院」としてスタート **病院一体化で、ここが便利になります！**

2021年10月1日から東京医科歯科大学病院がスタートします。医学部附属病院と歯学部附属病院が一体化することで、「これに期待できる！」「ここが便利になる！」というポイントについてさまざまな診療科の先生方がご説明します。



## 診療科 歯周病外来



診療科長 岩田 隆紀

歯周病を治療すると改善が見込まれる全身の病気がたくさんあります。糖尿病、呼吸器疾患、心臓疾患、脳血管疾患、慢性腎疾患、リウマチなどがその例です。口は体の入り口なので、全身の健康を考える上で口の中を健康に保つことが重要です。病院一体化によって全身疾患に対する治療として、歯周病治療が取り入れやすくなります。歯周病外来に通院する患者さんの全身の健康についても十分注意を払い、必要がある場合は糖尿病、心臓疾患などの担当診療科をご紹介します。

## 診療科 顎義歯外来



診療科長 隅田 由香

本科は顎や舌を失った患者さんを対象とする「顎顔面補綴」専門外来です。病院一体化によって医学部附属病院の頭頸部外科や放射線治療科と一緒に受診なさることの多い本科の患者さんの受診が、スムーズになる予定です。最近、外科切除による顎や舌の欠損の方だけでなく、骨粗鬆症関連薬剤や骨転移抑制薬剤の使用や、放射線治療による顎欠損の方も増えています。10月からの医科と歯科の垣根を超えた連携で、患者さんの「食べる」「飲み込む」「話す」を更にサポートさせていただきます。

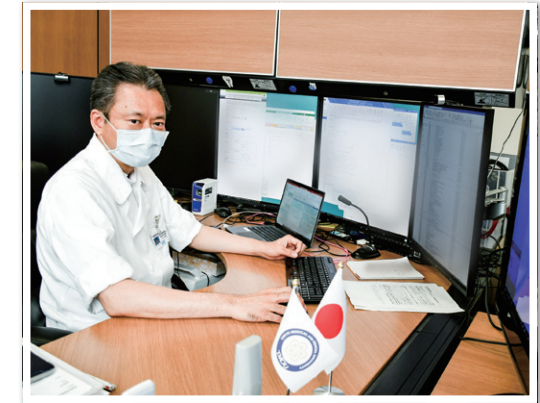
## 診療科 摂食嚥下リハビリテーション外来



診療科長 戸原 玄

医学部附属病院に入院した患者さんで食事が食べられない、飲み込めない、などの症状に苦しむ方がいた場合に、フットワークよく対応できるようになります。重症の摂食嚥下障害だけでなく、軽度の患者さんへの予防的な対応もできます。すでに医学部附属病院の「長寿・健康人生推進センター」で「オーラルフレイル健診」も行っています。これは老化にともなう歯の喪失、口腔衛生や口腔機能の低下などを診断するもので、健診結果に基づいて適切な対応を行うことで、病気と心身機能の低下を予防します。ぜひご利用ください。

## 診療科 歯科医療情報センター



センター長 木下 淳博

IT社会の今、医療情報の管理と活用は、病院が担う重要な課題です。当院も病院一体化に伴って医科と歯科の医療情報部門も一体化し、2025年までに膨大な診療情報を全学的に統一して管理するシステムを導入する予定です。これにより、患者さんの大切な診療情報を、より安全に、確実に管理していきます。また集積した医療情報は適切な承認手続きを経て匿名化データとして医療を発展させるために活用します。医療者を育成するための教材づくりや、人工知能(AI)による新しい診断方法の開発などを通じて社会還元を推進していきます。

## その他の診療科・部からのメッセージ

### ■義歯外来 診療科長 笹木 賢治

義歯外来には、入れ歯やかぶせ物の歯科治療のためご高齢の方がたくさん来院されておりますが、医学部附属病院にも通院されている患者さんには、病院一体化により利便性とサービスの向上が期待されます。

### ■クリーンルーム歯科外来 診療科長 道 泰之

これまで以上に医学部附属病院で様々な全身疾患を加療中の患者様に、安全で清潔な歯科医療環境を適切に提供することが可能になると思います。

### ■歯科総合診療部 診療科長 新田 浩

新来患者さんの全身の評価と歯科診断を行い、治療計画を提案したり、予防を目的とした歯科ドックなども行っています。すでに長寿・健康人生推進センターで医科と連携し歯科診療も行っており、一体化により、より一層患者さんの健康に貢献できる機会が増えることに期待しています。

### ■スポーツ歯科外来 診療科長 上野 俊明

スポーツ歯科外来では、病院一体化のメリットを生かして、医学部のスポーツ医学診療センターやスポーツサイエンスセンターと緊密に連携して、アスリートや学生スポーツ、愛好家のサポートとトータルケアに取り組んでいきます。

